（2024年12月～2025年2月製作完了分）

点字図書受入れ目録　17タイトル

自館製作の点訳は「西宮点訳グループ」・「点訳グループあやめ」の皆様です

番号　分類・発行年　書名　著者名　冊数

点77-1　小説（2024）リアル　日本有事　麻生幾　9

　日本政府は“台湾戦争”勃発後を想定し、沖縄への陸上自衛隊の事前配備を決断。だが、中国特殊部隊は破壊工作を始めようとしていた。そして日本は、想定していなかった戦禍に見舞われ…。徹底した取材をもとに描く軍事小説。

点77-2　小説（2024）番所医はちきん先生休診録　７　無粋者の生涯　井川香四郎　4

　岡っ引きに頼まれ、深川の材木置き場で死んでいた娘の死因を調べ直した八田錦。その見立ては、なんと凍死。事態は、定年間近の年番方筆頭与力・井上多聞も巻き込んで思わぬ方向に転び始め…。全４話を収録。

点77-3　小説（2024）海を破る者　今村翔吾　7

一族の内紛により、没落した伊予・河野家。だが、海の向こうから元が侵攻してくるという知らせが。当主・河野通有は、ばらばらになった河野家をまとめあげ、元を迎え撃つべく九州に向かうが…。

点77-4　小説（2024）明智恭介の奔走　今村昌弘　4

　神紅大学ミステリ愛好会会長・明智恭介。彼ははたしてミステリ小説のような謎に出合えるのか…。「屍人荘の殺人」以前、葉村譲とともに挑んだ事件を描く短編集。

点77-5　小説（2024）ポップ・ラッキー・ポトラッチ　奥田亜希子　2

　正しいことがなにより強いと信じている相田愛奈。無職だが銀行口座には約２億円がある。そこへ、浪費家の従姉妹が転がり込んできて…。贈与と返礼、お金と正しさを描く。

点77-6　小説（2024）黄昏のために　北方謙三　3

描くことは、生きること…。“究極の絵”を追い求める一人の画家の“生”を描き出す小説集。中年画家の苦悶と愉悦が行間から匂い立つ濃密な１８篇を収録する。

点77-7　小説（2024）山の上の家事学校　近藤史恵　3

離婚して１年。荒んだ生活を送っていた幸彦は、ある「学校」を紹介される。そこには様々な事情を抱える生徒たちが通っていた…。忙しすぎて“生活”が後回しになっている、大人たちへの応援歌。

点77-8　小説（2024）のち更に咲く　澤田瞳子　6

　藤原道長の栄華を転覆させようと都を暗躍する盗賊たち。盗賊の首魁が死んだはずの兄だと聞いた道長邸勤めの女房・小紅は、盗賊の正体を追い始める。やがて王朝を脅かす秘密へと辿り着き…。

点77-9　小説（2024）幾世の鈴　あきない世傳　金と銀　特別巻　下　高田郁　4

五鈴屋八代目店主周助の暖簾を巡る迷いと決断を描く「暖簾」。還暦を迎えた幸が、五鈴屋を後世にどう残すかを決断する「幾世の鈴」…。「あきない世傳　金と銀」シリーズの登場人物のうち、４人を各編の主役にした短編集。

点77-10　小説（2024）わたしのカレーな夏休み　谷口雅美　2

　食いしん坊で鼻がいい小５のハルカは、夏休みに大阪でカレー屋を営む叔父のもとへ。夏休みの自由研究として、商店街に住む少年たちとグルメイベントに出すお店のカレーの新メニューを考えることになり…。レシピも掲載。

点77-11　小説（2024）グリフィスの傷　千早茜　2

　からだは傷みを忘れない、たとえ肌がなめらかさを取り戻そうとも…。表題作をはじめ「竜舌蘭」など、傷をめぐる１０の物語を通して“癒える”とは何かを問いかける短編小説集。

点77-12　小説（2024）対決　月村了衛　5

　ある医大が入試の採点過程で女子の点数を意図的に下げている。新聞記者の檜葉菊乃は理事の神林晴海に目をつける。男性優位の社会で、共に無数の理不尽に直面してきた２人の闘いの行方は…。

点77-13　小説（2024）きらん風月 　永井紗耶子　5

　絵も歌も戯作もこなし、「尼子十勇士」を世に知らしめた栗杖亭鬼卵。寛政の改革で一度は天下人となった元老中・松平定信。鬼卵の昔語りは、やがて定信の半生をも照らし、大きな決意を促して…。

点77-14　小説（2023）龍の墓　貫井徳郎　5

　東京都町田市郊外で発見された身許不明の焼死体。町田署の女刑事・保田真萩は、警視庁捜査一課の南条と聞き込みを開始する。そんな中、荒川区内で女性の変死体が見つかると、ネット上である噂が…。

点77-15　小説（2024）フェスタ　馳星周　6

　北海道で競走馬の生産牧場を営む三上収、徹の親子は、「凱旋門賞」の舞台で力を発揮できるのは、ステイゴールドの血統に違いないと確信していた…。ホースマンたちの熱き想いを描く長編小説。

点77-16　小説（2024）金融破綻列島　水野梓　3

　１１年前、祖父の運送会社の粉飾決算に荷担していた父は、良心の呵責に耐えかね、証券取引等監視委員会に告発したが、握りつぶされ自死した。金融庁に勤める彩は復讐を誓い、父の死の真相に迫っていき…。経済ミステリ。

点77-17　小説（2024）御庭番耳目抄　まいまいつぶろ　村木嵐　4

　徳川吉宗の母・浄円院の口から出た孫・家重廃嫡の真意とは。老中首座を追われた松平乗邑が向かった先は。全てを見てきた隠密、万里が最後に会いに行った人物とは…。「まいまいつぶろ」完結編。

点字雑誌

＊天声人語（朝日新聞より）　全１巻

＊女の気持ち・男の気持ち（毎日新聞コラムより）　全１巻

＊日経コラム抜粋版　全１巻

＊人生案内（読売新聞より）　全１巻

＊ひととき（朝日新聞コラムより）　全１巻

★購入　点字ジャーナル

★購入　生活情報誌ライト＆ライフ

寄贈点字本・雑誌

＊ふれあいらしんばん（発行：内閣府政府広報室）

＊政府広報誌：厚生

＊障害者と健常者が共に楽しむ旅行（発行：社会福祉法人　桜雲会）

録音（カセット）図書受入れ目録

広報誌

＊令和６年度市営住宅だより　冬号（発行：西宮市営住宅管理センター）

録音（デイジー）図書受入れ目録　26タイトル

自館製作の音訳・編集は「テープライブラリーにしのみや」の皆様です

番号　分類・発行年　書名　著者名　時間

デ77-1　小説（2024）生殖記　朝井リョウ　8:50

家電メーカー総務部勤務の尚成は、同僚と二個体で新宿の量販店を訪れる。寿命を効率よく消費するために…。「正欲」から３年半ぶりの長篇。

デ77-2　小説（2024）アーセナルにおいでよ　あさのあつこ　6:29

　高校３年生の千春は、幼馴染で初恋の相手・甲斐からスタートアップのメンバーとしてスカウトされた。会社の名前は「アーセナル」。メンバーたちは、起業という一つの目標に向かい、生きる「武器」を手に入れていく…。

デ77-3　小説（2024）凍空と日だまりとおもみいたします　あさのあつこ　10:01

　５歳で光を失い、揉み療治を生業としているお梅。１年先まで申し込みが埋まっているが、今すぐ主の腕が動くように療治してほしいという武士が現れた。彼から「張りつめた者」の気配を感じたお梅は…。

デ77-4　小説（2024）だめになった僕　井上荒野　5:53

　音村綾は３０代半ば。現在は信州でペンション経営兼漫画家として活躍。祥川涼。画家。４０代後半。妻を失い、現在は酒浸りの日々を送っている。綾のサイン会での事件から２人が出会った「１６年前」へと時を遡る恋愛小説。

デ77-5　小説（2024）夜刑事　大沢在昌　7:19

　通称・ヴァンパイアウイルスに感染し、太陽の下で活動できなくなった刑事の岬田。その代償として研ぎ澄まされた五感を手に入れ、警察と犯罪者たちの思惑に翻弄されながら、ウイルスを感染させた元恋人を捜そうとするが…。

デ77-6　小説（2024）プラチナハーケン１９８０　海堂尊　9:36

　昭和末期、東城大学医学部の佐伯教授は、若き医局員・渡海を大抜擢。渡海は次々に高度な手術を成功させる。だが、ある患者のカルテに不審を抱いた彼は、佐伯外科の深い闇へ足を踏み入れることに…。

デ77-7　小説（2024）武田の金、毛利の銀　垣根涼介　9:38

　織田信長の密命を帯びた明智光秀は、武田・毛利両家の資金源を探る。流通、換金、供給率、持続性…。金銀を活かすために必要なものとは？歴史冒険活劇。

デ77-8　医学（2024）どうせ一度きりの人生だから　医師が教える後悔しない人生をおくるコツ　川嶋朗　3:43

　「やりたいことをもう先送りにしない」「人を恨み続けることは自分の損になる」「普段から家族と死について話す機会をつくる」…。たった１度の人生を、悔いなく生きるためのヒントを医師からのやさしい視点で語ります。

デ77-9　エッセイ（2024）そらそうや　黒川博行　5:18

　作家になるまでの日々、執筆を支える日常、麻雀や博打と運、友人たちとの交流…。本格警察小説やハードボイルド作品で人気の著者が、４０年間の作家生活を綴る。自作の解説、東野圭吾との対談も収録。

デ77-10　小説（2024）法廷占拠（爆弾２）　呉勝浩　11:32

　史上最悪の爆弾魔スズキタゴサクの裁判中、銃を持ったテロリストが法廷を占拠、前代未聞の籠城事件が発生した。スズキタゴサクも巻き込んだ、警察とテロリストの戦いがふたたび始まる。

デ77-11　小説（2024）青い絵本　桜木紫乃　3:41

　作家、編集者、セラピスト、書店員…。さまざまな形で絵本にかかわる人々が、絵本を通じて過去と対話し再生する姿を、静謐な筆致で紡ぎだす。表題作ほか全５話収録の作品集。

デ77-12　小説（2024）左太夫伝　佐々木譲　17:19

　欧米列強が開国を迫る中、万延遣米使節団として世界を旅した仙台藩士・玉虫左太夫。日本に〈共和政〉を実現すべく奥羽政権樹立に挑んだ男の波乱に満ちた生涯を描く。

デ77-13　小説（2024）緋あざみ舞う　志川節子　8:20

　向島で船宿を営む、お路とお律の美人姉妹。その裏の顔は「緋薊」を名乗る盗賊だった。ふたりは、幼い頃に失明した妹のお夕を守り、不可解な死を遂げた父の無念を晴らすべく奮闘する！

デ77-14　小説（2024）浅草寺子屋よろず暦 　砂原浩太郎　6:52

　大滝信吾は、さる身の上を秘して浅草寺の一角で寺子屋を開いている。浅草の四季を舞台に、家族や友人、下町の人情に支えられながら、果たして信吾は天命を見つけられるのか…。

デ77-15　小説（2024）虚の伽藍　月村了衛　12:14

　バブル期の京都。伝統仏教の最大宗派・燈念寺派の宗務庁で出世を目指す若き僧侶・凌玄は、欲望にまみれた〈お山〉を正道に戻すため、あえて悪に染まっていくが…。

デ77-16　小説（2024）いつか月夜　寺地はるな　7:06

　会社員の實成は、父を亡くした後、得体のしれない不安にとり憑かれるようになった。特に夜に来るそいつを遠ざけるため、なにも考えずに夜道をひたすら歩く。やがて、「深夜の散歩」メンバーは何故か増えていき…。

デ77-17　小説（2024）鷹の飛翔　堂場瞬一　11:26

東日本大震災の翌年、都内で起きた４件の殺人。被害者は全員、四半世紀前の都内飛翔弾事件の容疑者だった。同一犯か、別個の事件なのか。平成を駆け抜け、警察官人生の晩年を迎えた２人の刑事が最後の事件に挑む。

デ77-18　小説（2024）作家刑事毒島の暴言　中山七里　10:03

　新人賞を獲ったばかりの作家の卵が殺され、若手刑事の高千穂は作家兼刑事の毒島と捜査を開始。毒島は被害者が通っていた小説教室の受講生に、彼らのプライドをへし折る容赦ない取り調べを行い…。

デ77-19　小説（2024）マザー　乃南アサ　7:03

　娘が嫁いで一人残された高齢女性が、やがてマンション内で鞘当てが起きるほどに華やかに変貌し…。「母」という名に隠されたひとりの女性としての“本当”の姿を描き出した５つの短編家族小説。

デ77-20　論理学（2024）頭のいい人だけが解ける論理的思考問題　野村裕之　9:56

　世界のエリートがたしなむ“問題解決の訓練”に挑んでみないか？「論理的思考」「批判思考」「水平思考」「俯瞰思考」「多面的思考」がおのずと磨かれる全６７問を収録。「ちゃんと考える力」が身につく知的トレーニング本。

デ77-21　小説（2024）世界のすべて　畑野智美　8:28

　５年間勤めた会社を辞め、街の小さな喫茶店「ブルー」でアルバイトをする鳴海優輝。「ブルー」には秘密を抱えた人々が集まってくる。秘密に向き合う鳴海にも、周りに言えない想いがあった。

デ77-22　小説（2024）転売ヤー殺人事件　松澤くれは　8:11

　プロとして誇り高く転売行為を続ける「俺」。しかし巷では転売ヤーを狙った連続殺人事件が発生。身の危険を感じつつ転売を続けている中、「俺」は自宅を特定され、転売ヤーの元締め「転売王」だという事実無根の噂を流され…。

デ77-23　小説（2024）さやかの寿司　森沢明夫　8:31

　母の納骨を終えたまひろは、幼い日に母と一度だけ訪れた、鄙びた商店街の寿司店「江戸前夕凪寿司」にやってきた。大将・さやかは、ふんわりとした見た目とは裏腹に、凄腕の寿司職人で…。

デ77-24　小説（2024）岩に牡丹　諸田玲子　9:56

　秋田を訪れた平賀源内にその画才を見出され、「解体新書」の絵師に大抜擢された下級武士の小田野直武に、江戸出仕の密命が下る。源内は老中・田沼意次と秋田の佐竹家を強請ろうとしていて…。

デ77-25　エッセイ（2024）電車で不思議なことによく遭遇して、みんな小刻みに震えました　やーこ　3:42

　振り返るとなぜか珍事件は電車でよく起きていた…。Ｘ（旧Ｔｗｉｔｔｅｒ）で人気の作品をはじめ、書き下ろしの新作など、笑い９割、戒め１割の全４０篇を収録。愛猫への思いを綴った長篇も掲載する。

デ77-26　小説（2024）長篠の戦い（戦百景）　矢野隆　9:19

　武田の勇将たちはなぜ無駄な突撃をしたのか。信長が仕掛けた罠とは何だったのか。「長篠の戦い」を登場人物たちの複数の視点、リアルな時間の流れで描いた書下ろし歴史小説。

寄贈広報誌ほか

＊にってんデイジーマガジン（月刊）　内容：「ブックウェーブ」「文藝春秋」「ホームライフ」「医学研究」等

＊京まる（月刊）　内容：「はなのぼう」「本屋さんの新刊書」「声の京都」「京都観光Ｎａｖｉ」

＊政府広報誌：明日への声、厚生

＊兵庫県議会だより　声の広報（発行：兵庫県視覚障害者福祉協会）

＊令和６年度市営住宅だより　冬号（発行：西宮市営住宅管理センター）